

陸軍

作戰班

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
10	10	10	17	15	16	14	13	12	11

軍機秘

電報

總長宛

南參一電第三三號

岡部隊長

昭一六、一一、三〇
一一、四一、五發
著

三十一日未龍^北ニ到着シ妙高^{15A}及^{3FD}「ヤリ」^{作戦}ノ報告ヲ受領セリ

未依^{作戦}ハ兩兵團トモ其^{作戦}「ウメ」^{作戦}準備ハ概不順調ニ進捗ノ

豫定^{作戦}「ウメ」^{作戦}ノ遂行ニ支障ナク本電班ニ報道ヲ綜合スルハ

概^{作戦}全般^{作戦}ノ準備ハ隸下各兵團能ク一ハニ力シ

本職命令ノ體シ之ニ邁進シタルト^{海軍}「ウメ」^{作戦}ノ協同宜^{作戦}ニ得

タルヲ以テ順調ニ進捗シ豫定ノ「アタミ」ノ遂行ニ支障ナク一令
作務アリ也
下勇躍必勝ノ確信ヲ以テ進發スルコトヲ得（「オホキ」及
「オホキ」
第ニ「ハダ」ニ傳ヘラレ度）
（終）

0577

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	回	作
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	電	戦

參謀

至急必見

電報

庶務課長宛

南總參一電第三五號(昆)

參電第四五六號返

總軍司令部ノ行動ノ豫定ハ昨二十九日荒尾參謀ヲシテ貴部第二

課長宛連絡セシメタル通三日朝臺北出發三亞ニ到リ五日又ハ六

日密カニ西貢ニ移動ス

(終)

岡部隊參謀長

一三〇〇
一四三〇
一五〇〇
一六〇〇
一七〇〇
一八〇〇
一九〇〇
二〇〇〇

昭和一六一一



作戰班

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11

電報
次長 苑 西貢 岡部 隊 參謀 長

南總西情電第一三三號

昭和一六一二一

一語不明ノ電第三六號ニ依レバ一式戦闘機落下「タンク」ハ二
十八日芝浦出帆十日西貢著ノ由ナルモ斯克テハ九俣功ヲ一發ニ決ク
ニシテ今日迄有ユル犠牲ヲ省ミズ整備セラレタル一式戦ノ功ヲ

一發ニ決クモノト推察ス

於テハ之ガ期待スル所極メテ大ニシテ最小限航空掩護、第一撃

泊地防空ノ三點ハ絶對ニシテ陸海軍航空協定ヲ以テ右可能トシテ協

定々ラレタル點モアリ機關砲彈ト共ニ是非海軍砲艇又ハ空艦ニ依リ

0579

急送アリ度希望ナリ

軍トシテハ作戦地ノ氣象狀況ニ鑑ミ重爆撃一戦隊ヨリモ一式戦一戦隊ノ戦力ヲ重視シアル次第ニシテ狀況眞ニ止ムヲ得ザル場合ニ於テハ在菊地飛行六十二ヲ以テ輸送セシメ度考ヘナリ

御配慮ヲ乞フ

飯室 隆 計 長

(終)

至急秘

電報

一ニニ
一ハ三〇〇
一ハ三〇〇
一ハ三〇〇
一ハ三〇〇
一ハ三〇〇
一ハ三〇〇
一ハ三〇〇
一ハ三〇〇
一ハ三〇〇

昭和一六—二二

總務部長宛

岡部隊總參謀長

南方軍依頼電第一號

第二課長へ 榎田ヨリ

一本一日「カウラ」幕僚ト連絡ス

一同志氣軒昂タリ

ニ「急ギ」以前ニ於ケル「ウメ」指導ニ關シテハ承知セリ 固籍不

明ノ潜水艦等ノ「ミカサ」攻撃ニ對シテハ之ヲ眞面目ナル攻撃ト

認メズ務メテ之ヲ隱忍シ又「スイセン」軍海空ヨリ眞面目ナル攻

撃ヲ行フモ地上軍「ツクバ」ニ「編成」セザル場合ハ機ヲ失セズ

4

6

0581

「ホダカ」ヲ以テ反撃「編成」シ「ツクバ」「編成」「ウメ」ハ
 先遣「フカ」等「ミカサ」「カラス」ニ入ル迄務メテ之ヲ避ク
 尙大命降下後「チカ」迄ノ間ノ「ヤナオ」ニ至ル迄「編成」開始
 ハ「カウラ」命令ニ依ラシムル等「カウラ」ノ意向ハ十分大本營
 ノ考ヘト一致シアリト存ゼラルルニ付御安心ヲ乞フ
 「メウコウ」ニ於テハ「ツクバ」ニ「編成」シ且「ツクバ」ガ中
 立の態度ヲ採ル場合

(以下未著ナルモ提出ス)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	作戦班
80	19	18	17	16	15	14	13	12	11	



急報

電報
次長宛

一三三
一四〇〇
一七五〇 著

岡部隊参謀長

昭和一六一二四

南参一電第六〇號

天候不良ノ爲「カウラ」出發ヲ延期シ明四日朝出發「シナノ」ヲ經
テ「スミダ」ニ到ル
(終)

4



南北總西情電第二一八號

當地ニ於ケル本三日十六時ノ氣象判斷從來ト變化ナシ

(終)

電 報 一 二 五 三 〇 八 著
岡 部 隊 總 參 謀 副 長

昭和一六一二五

9

0584



10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	回	作
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	覽	戰

秘親展

大總長
臣長

苑 報

岡 部隊長

昭和一六一二、五
一三四一九四〇
著

西情電第二四二號

田村武官ヨリ

小官三日十五時「ピブン」首相ト會談シ次々如キ確約

ヲ得タリ願ハ泰國政府ノ大乗的希望ヲ察納セシ

此歴史的瞬間ニ於ケル日泰ノ實ヲ打樹テ得ル也

6

御處置賜ノ度

〔日本軍が中部泰へノ進入ヲ暫定期間膠著シ泰政
府ノ面目ヲ重ゼラルルニ於テハ日本軍ノ「ブラチェアプ」
以南泰領へノ進入ハ妨害セズ 聖成ルベク速カニ與手
國積極的ニ協カスル決心ナリ〕因ミニ「ピブシ」首相ハ
強烈ナル意志ヲ以テ泰國政府ヲ指導ヲ掌握シアル
ヲ確實ナリ

通電先陸參

(終)

作戰班電機

極秘

電報

一三六一四〇〇發

昭和一六一二五

次長宛 岡部隊參謀長

南總參一電第六三號

第六〇〇號（E方面ノ作戰要領ニ關スル件）ニ關シ左ノ邊定メ

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11

左ノ他ノ狀況ニ應ジ乙案又ハ臨機ノ處置ヲ採ルヲ要スル場合ハ
 「南總艦隊 陸海軍作戦協定」ニ依ル

右ノ場合敵情之ヲ許セバ直接大本營及「カウラ」ニ報告スルモ

右依命

（終）

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	回	作戦班
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	機	秘

機秘

電報
次長宛
報
一三六一
一四四一
四四一
一四四一
著發
部
隊
長

昭和一六一二六

南參一電第六九號
「連絡」日次ハ「ハグロ」ノ新ナル部署ニ鑑ミ之ヲ「テ
カシ」
+13日發令ニ變更セララル依命
通電先 參渡 治
(終)

軍機 秘電報

昭和六年一月二七
一三六、二〇五、
二〇四、〇〇著

南極参一電第七三號

次長宛

岡集團總参謀長

一、^{海軍}シラ側、通報ニ依レハ本五月一五、^{偵察}ハ

海三隻ニ敵大型「オンタケ」觸接偵察

セシテ以テ「クジラ」ハ之カ撃墜ヲ命ジタ

ルモ其ノ成果不明

二、^{航空}カウラハ對空處置ヲ嚴ニス

(終)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11

作戰班

機極秘

電報 一ニハ
 宛報 〇〇〇〇
 官長 〇〇〇〇
 次官 〇〇〇〇
 南總參一電第九〇號

昭和一六一二八

一 奉 陸 武 官 ヨリ 他 ノ 電 報 ニ 依 レ バ 「 ビ プ ン 」 ハ 東 部 國 境 ニ 、 海 軍
 長 官 ハ 「 サ タ ヒ ツ プ 」 一 車 海 ニ ア リ
 二 八 日 〇 一 五 〇 大 使 ハ 外 務 大 臣 ニ 我 ガ 最 後 的 通 牒 ヲ 交 付 セ リ
 三 右 經 過 ニ テ 八 日 、 〇 三 〇 〇 迄 ニ 隱 忍 待 機 シ 又 西 貢 内 山 公 使 ト モ
 連 絡 セ ル モ 遂 ニ 電 報 ニ 接 セ ズ
 四 全 般 ノ 情 勢 ニ 臨 シ 舉 動 ノ 判 断 ト 現 實 ノ 狀 況 ト ニ 鑑 ミ テ 總 司 令 官
 ハ 八 日 三 時 三 十 分 進 入 ス ル ニ 決 セ ラ レ 南 總 參 作 命 甲 第 十 〇 號 ヲ 以

0591

0591-0590

タイ国への進入開始
開始は午後

9	8	7	6	5	4	3	2	1	作戦班
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11

0591

機極秘

南總参一電第九〇號
次官 宛
次長 報

一 泰國武官ヨリ他ノ電報ニ依レバ
長官ハ一サダヒツブ一軍港ニア
ニ八日〇一五〇大便ハ外務大臣ニ
ニ右経過ニテ八日、〇三〇〇迄ニ
連絡セルモ遂ニ電報ニ接セズ
四 全般ノ情勢ニ關シ學官ノ判斷ト
ハ八日三時三十分進入スルニ決

テ即時進入開始ヲ命ゼラル儘シ國境ニ於テ縦ヒ小紛争シアルヲ
16
努メテ友好裡ニ進入シ度希望ハ措ラレアラス

通電先 陸 参 總参謀長

(終)

0592

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	回	作戦班
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	電	

南總參西電第二九號

次長宛

岡部隊總參謀長

電報 一三八一四四〇著發

昭和一六一三八

五飛行集團ハ六日豫定ノ如ク展開ヲ完了ス

三飛行集團ノ七日ニ於ケル展開狀況左ノ如シ

シエムレア「飛三十一、飛七十七（一中隊缺）、「クラコール」

飛七十、飛六十二、「コンボンクラーナン」飛二十七、「ブノン

ン」飛五十一、飛八十一、飛十二、飛六十、「コンボントラ

ッシュ」飛五十、飛五十九、飛七十五、飛九十、「クイカン」

「ソオント」飛十一、飛六十四、「サイゴン」飛九十八、

飛七十七ノ一中隊

飛八十三ノ先頭先ヅ「ナトラン」へ、主力不明

三「ナトラン」獨飛八十四、河内獨飛八十二

四五日迄ニ判明セル集中訓練、作戦ノ爲ノ損害ハ一四機ナリ

(終)

至急秘

電報

昭和一六、一七、一九

一三八、一三〇、一三〇著

次長宛 岡部隊總參謀長

南参一電第九四號

吉田支隊ハ七時三十分發答ニ向ヒ

前途ヲ開始セリ

通電先 参、第三飛行集團

終



電 報 一 二 六 四 五 〇 〇 著

昭和一六一三九

野戰輸送司令官宛 閣 部 隊 參 謀 長

南總參一電六七號(昆) (宛名違ヒ及翻譯不能ニテ照會ノ爲退返)

一五日十七時ニ於ケル氣象判斷ハアヨク最可トシ九日午後ヨリ下リ

坂トナル

右判斷ハ海軍ト一致シアリ

ニ「テウカイ」ノ先遣「ツカ」ハ豫定ノ如ク「協議」

丁軍

117 田

能行

(終)

10	9	8	7				
20	19	18	17				

第... 秘

軍機秘

作戰班

電覽

南次電第九九號
次長宛報

昭一六、一三九
一、九、四、五、五、五、五、五
岡部隊總參謀長

八日二十時迄ニ判明セル「E」方面ノ狀況也

輸送機ノ損毀

コソバル沖 渡路小丸 一隻ノミ (前電訂)

如シ

第三飛行隊不圖作戰經過概要(八日)

1. 第十二飛行團八時頃 コト前進向地

ヲ前哨地ノ監視ニ任ス

2. 第七飛行團ハ コトハ山ノ飛行團攻撃

3. 第三飛行團ハ八時及十六時二回ニ互リ飛

六十二回 コト地区飛行團攻撃

4. 第十飛行團(飛方十二機)ハ第十五軍ノ

作戰ニ協力ス

五、敵ニ與ヘタル損害（確實ナルモノノミ）

小型爆破六、撃墜七（内三、泰玉機）

中型爆破一、大型爆破八、計二二

六、我が方ノ未ダ歸還セザルモノ

戦闘機ニ偵察機ヲ重爆撃機六、

(終)



秘

電

(傍受)

報

陸軍省参謀長宛
南支那電第 二〇號

陸軍省参謀長

昭和 一六、一三、九

一三八

一、當分ノ間 颶風ニ依ル 荒天ノ慮ナシ

二、北支ノ季ノ新風ニ依ル 丁方而ノ悪天候ハ九
日ヨリ十一日迄ノ間ノ天候ハ予想ニ得ルモ七日日
ハ海上モ比較的 靜カニ 晴ル 経度ナルベシ

昭和一六一三九

電

報

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

閣 部 除 總 參 謀 長

次 次
官 長
布

南參二電第一四號

八日十二時日泰兩國間諒解成立セリ但シ[?]軍事ニ關スル諒解ハ目下交渉
中ノ留泰國武官ヨリ入電アリ但シ泰國軍ハ抵抗ヲ中止スベキ命令ヲ下
達セルガ如シ

滴電先 參 陸 第十五軍 第三飛行集團 渡 波 治

支線各參謀長（渡以下ハ參考）

（添）



昭和一六一三一〇

電報 一三一〇〇〇九發

次長宛 岡部隊總參謀長

南總參二電第一七號

一 南總參二電第一一號對佛印交涉中ノ現地協定基礎要綱ハ八日十

八時三十分調印ヲ終了セリ

二 佛印一般ニ平穩ナリ、凶貢ニ於ケル敵性小機關等ノ接收ハ全部

圓滿ニ終了ス

(終)

第...課

晴氣大尉

秘電

次長宛 岡部隊總參謀長

報 一 二 一 〇 二 三 五 九 發

昭和一六一年一〇

南總參四電第三一號

八月三飛集方面戰果詳報左ノ如シ

敵ニ與ヘタル損害(確實ナルモノノミ)

小型機 爆破一七 (内八ハ泰所屬)、撃墜七 (内三八泰所屬)

中型機 爆破四

大型機 爆破二〇、塔庫二大破

計 四八機

我方損害(未ダ歸還セザルモノ)

Y

九七戰 二

九七戰? 偵 二

九七重 九 (内二? 八人員無事)

計 一三機

(終)

至急秘

電

報

一三一〇

〇四二〇
〇八〇〇
〇〇〇〇

昭和一六一二一〇

次長宛 岡部隊 總參謀長

南總參一電第一九號

九日二十四時迄ニ判明セル狀況概ネ左ノ如シ

「コタバル」方面

八日朝ノ爆撃ニ依リ輸送船一ヲ失ヒ他ノ二船モ亦相當ノ損害ヲ

蒙リシモ豫定計畫ノ道八日夜陸岸ニ擱坐シ折返シ上陸ヲ敢行セ

リ

他方既に上陸セシ部隊ハ八日夕飛行場ヲ九日晝「コタバル」市

街ヲ占領セリ

0606

コタバル
張

0606



至急秘

電

報

次長宛

南總參一電第二一九號

九日二十四時迄ニ判明セル狀

「コタバル」方面

八日朝ノ爆撃ニ依リ輸送器

蒙リシモ豫定計畫ノ道八日

リ

他方既ニ上陸セシ部隊ハ八

街ヲ占領セリ

ニ「バタニー」方面 飛行機ノ偵察ニ依レバ八日十五時「ヤー」

附近ニ到着セルモノノ如シ

又揚陸ハ豫定ノ通完了セリ

ニ「シンゴラ」方面 上陸後泰ノ抵抗ヲ受ケ八日十五時頃之ヲ

降伏セシム

八日夕刻海軍機ノ偵察ニ依レバ先頭ハ「バシヤイ」附近ニ到着
セルモノノ如シ「シンバラ」方面ノ揚陸波浪稍ト高マリ豫備隊
ハ揚陸部隊ノ努力ニ依リ概ネ本日夕刻迄ニ完了ノ見込ナリ

四 高津方面

首尾ノ通

五 鷺谷

海路鷺谷ニ進入セル高津方面ハ九日十時又陸路進入セル部隊ノ
先頭ハ九日十一時頃ニ高津ニ鷺谷ニ進入セリ

(終)



至急秘

昭和一六一三二〇

報 一三 六一三〇〇發

電 長 宛 岡 部 隊 總 參 謀 長

南總參一電第一一七號

本九日ニ於ケル第三飛行集團戰鬥ノ概況左ノ如シ

一 第三飛行團及飛行第六十二戰隊ハ「コタバル」飛行場攻撃ヲ同ケ

シモ途中同飛行場ハ友軍既ニ之ヲ占領シアルヲ知り目標ヲ他ノ飛

行場ニ變更攻撃ス 其ノ結果未詳

二 第十飛行團ハ「ケタ洲」飛行場ニ攻撃ヲ回ケシモ天候不良ニビク

トリヤノポイント」ニ目標ヲ變更ヒシモ天候ノ爲遂ニ目的ヲ達セ

ズ

φ

三 第十二飛行團ハ依然「シンゴラ」ニアリテ泊地ヲ掩護ス

本日敵機泊地ニ現出セズ

四 第十飛行團主力ハ泰國邊入ヲ準備ス

五 彼我ノ損害未詳ナリ

(終 ?)